

島根原子力発電所第2号機 審査資料	
資料番号	NS2-本-006-04
提出年月日	2022年7月21日

島根原子力発電所第2号機 工事計画審査資料

放射性廃棄物の廃棄施設のうち

気体，液体又は固体廃棄物処理設備

(液体廃棄物処理系)

(本文)

2022年7月

中国電力株式会社

放射性廃棄物の廃棄施設

2. 気体、液体又は固体廃棄物処理設備

2.2 液体廃棄物処理系

2.2.1 ドレン移送系

(7) 貯蔵槽

- ・ドライウェル機器ドレンサンプ

(9) 主要弁

(10) 主配管

2.2.2 機器ドレン系

(4) 容器

- ・機器ドレンタンク（1，2号機共用）
- ・トラス水受入タンク（1，2号機共用）

(10) 主配管

2.2.3 床ドレン化学廃液系

(1) 熱交換器

- ・床ドレン濃縮器（1，2号機共用）
- ・化学廃液濃縮器（加熱器）（1，2号機共用）

(4) 容器

- ・床ドレンタンク（1，2号機共用）
- ・化学廃液タンク（1，2号機共用）

(8) ろ過装置

- ・化学廃液濃縮器（蒸発器）（1，2号機共用）

(10) 主配管

2.2 液体廃棄物処理系

2.2.1 ドレン移送系

(7) 貯蔵槽の名称，種類，容量，主要寸法，材料及び個数並びに漏えい防止のための制御方法

		変更前		変更後
名称		ドライウェル機器ドレンサンプ		変更なし
種類		ライニング槽		
容量		m ³ /個	3.5以上* ¹ (3.5* ²)	
主要寸法	たて	mm	1700* ² , * ³	
	横	mm	1800* ² , * ⁴	
	深さ	mm	1400* ² , * ⁵	
	ライニング材厚さ* ⁶	mm	6.0* ²	
材料	ライニング材	—	SUS304	
個数		—	1	
漏えい防止のための制御方法* ⁷		—	水位高によるサンプポンプ 1 台自動起動回路 水位高高によるサンプポンプ 2 台自動起動回路	

注記*1：既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は，設計図書による。

*2：公称値を示す。

*3：記載の適正化を行う。既工事計画書には「1.7m」と記載。記載内容は，設計図書による。

*4：記載の適正化を行う。既工事計画書には「1.8m」と記載。記載内容は，設計図書による。

*5：記載の適正化を行う。既工事計画書には「1.4m」と記載。記載内容は，設計図書による。

*6：記載の適正化を行う。既工事計画書には「ライニング板厚」と記載

*7：記載の適正化を行う。既工事計画書には「制御方法」と記載

(9) 主要弁の名称, 種類, 最高使用圧力, 最高使用温度, 主要寸法, 材料, 駆動方法, 個数及び取付箇所

			変更前	変更後
名称*		称*	MV252-1	変更なし
種類		—	止め弁	
最高使用圧力		MPa	1.37* ² , * ³	
最高使用温度		℃	171* ²	
主要寸法	呼び径	(A)	65	
	弁箱厚さ* ⁴	mm	<input type="text"/> 以上	
	弁ふた厚さ* ⁴	mm	<input type="text"/> 以上	
材料	弁箱	—	<input type="text"/>	
	弁ふた	—	<input type="text"/>	
駆動方法		—	電気作動	
個数		—	1	
取付箇所	系統名 (ライン名)	—	MV252-1 (ドレン移送系)* ⁴	
	設置床	—	原子炉格納容器内 EL 8800mm* ⁴	
	溢水防護上の区画番号	—	—	
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—		

注記*1: 記載の適正化を行う。既工事計画書には「弁番号」と記載

*2: 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は, 既工事計画書の主配管「ドライウェル機器ドレンサンプポンプから「機器ドレンタンク入口収集管」の合流点まで」による。

*3: S I 単位に換算したものである。

*4: 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は, 設計図書による。

			変更前	変更後
名		称*1	MV252-2	変更なし
種	類	—	止め弁	
最高使用圧力		MPa	1.37*2, *3	
最高使用温度		℃	171*2	
主要寸法	呼び径	(A)	65	
	弁箱厚さ*4	mm	<input type="text"/> 以上	
	弁ふた厚さ*4	mm	<input type="text"/> 以上	
材料	弁箱	—	<input type="text"/>	
	弁ふた	—	<input type="text"/>	
駆動方法		—	電気作動	
個数		—	1	
取付箇所	系統名 (ライン名)	—	MV252-2 (ドレン移送系)*4	
	設置床	—	原子炉建物 EL 8800mm*4	
	溢水防護上の区画番号	—	—	
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—		

注記*1：記載の適正化を行う。既工事計画書には「弁番号」と記載

*2：既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、既工事計画書の主配管「ドライウェル機器ドレンサンプポンプから「機器ドレンタンク入口収集管」の合流点まで」による。

*3：S I 単位に換算したものである。

*4：既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

			変更前	変更後
名称 ^{*1}			MV252-3	変更なし
種類	類	—	止め弁	
最高使用圧力		MPa	0.98 ^{*2, *3}	
最高使用温度		℃	171 ^{*2}	
主要寸法	呼び径	(A)	65	
	弁箱厚さ ^{*4}	mm	<input type="text"/> 以上	
	弁ふた厚さ ^{*4}	mm	<input type="text"/> 以上	
材料	弁箱	—	<input type="text"/>	
	弁ふた	—	<input type="text"/>	
駆動方法		—	電気作動	
個数		—	1	
取付箇所	系統名 (ライン名)	—	MV252-3 (ドレン移送系) ^{*4}	
	設置床	—	原子炉格納容器内 EL 8800mm ^{*4}	
	溢水防護上の区画番号	—	—	
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—		

注記*1：記載の適正化を行う。既工事計画書には「弁番号」と記載

*2：既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、既工事計画書の主配管「ドライウェル床ドレンサンプポンプから「床ドレンタンク・化学廃液タンク入口収集管」の合流点まで」による。

*3：S I 単位に換算したものである。

*4：既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

		変更前	変更後	
名称 ^{*1}		MV252-4	変更なし	
種類	—	止め弁		
最高使用圧力	MPa	0.98 ^{*2, *3}		
最高使用温度	℃	171 ^{*2}		
主要寸法	呼び径 (A)	65		
	弁箱厚さ ^{*4}	□以上		
	弁ふた厚さ ^{*4}	□以上		
材料	弁箱	□		
	弁ふた	□		
駆動方法		—		電気作動
個数		—		1
取付箇所	系統名 (ライン名)	—		MV252-4 (ドレン移送系) ^{*4}
	設置床	—		原子炉建物 EL 8800mm ^{*4}
	溢水防護上の区画番号	—		—
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—		

注記*1：記載の適正化を行う。既工事計画書には「弁番号」と記載

*2：既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、既工事計画書の主配管「ドライウェル床ドレンサンプポンプから「床ドレンタンク・化学廃液タンク入口収集管」の合流点まで」による。

*3：S I 単位に換算したものである。

*4：既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

(10) 主配管の名称, 最高使用圧力, 最高使用温度, 外径, 厚さ及び材料

変更前						変更後						
名称	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	外 径*1 (mm)	厚 さ*1 (mm)	材 料	名称	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	外 径 (mm)	厚 さ (mm)	材 料	
ドレン移送系	ドライウェル機器ドレン サンプルポンプ	0.98*4	66	60.5	5.5	STPT42	変更なし					
	～ 弁MV252-1*2, *3	1.37*4	171	60.5	5.5	STPT42						
	76.3			5.2	STPT42							
	弁MV252-1 ～ 弁MV252-2*2, *3	1.37*4	171	76.3	5.2	STPT42	変更なし					
	弁MV252-2 ～ 原子炉建物機器ドレンサ ンプルポンプ出口ライン合 流部*2, *3	1.37*4	66	76.3	5.2	STPT42	変更なし					
				76.3	5.2	SUS304TP						
89.1				5.5	STPT42							
原子炉建物機器ドレンサ ンプルポンプ出口ライン合 流部 ～ 機器ドレンタンク入口収 集管*2, *3	1.37*4	66	89.1	5.5	STPT42	変更なし						

変更前						変更後						
名	称	最高使用 圧 力 (MPa)	最高使用 温 度 (°C)	外 径*1 (mm)	厚 さ*1 (mm)	材 料	名 称	最高使用 圧 力 (MPa)	最高使用 温 度 (°C)	外 径 (mm)	厚 さ (mm)	材 料
ド レ ン 移 送 系	原子炉建物機器ドレンサ ンプポンプ	0.98*4	66	60.5	5.5	STPT42	変更なし					
	～ 原子炉建物機器ドレンサ ンプポンプ出口ライン合 流部*5	1.37*4		60.5	5.5	STPT42						
				76.3	5.2	STPT42						
	ドライウエル床ドレンサ ンプポンプ	0.98*4	66	60.5	5.5	STPT42	変更なし					
	～ 弁MV252-3*6, *7, *8		171	60.5	5.5	STPT42						
				76.3	5.2	STPT42						
	弁MV252-3 ～ 弁MV252-4*6, *7	0.98*4	171	76.3	5.2	STPT42	変更なし					

変更前						変更後												
名	称	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	外 径*1 (mm)	厚 さ*1 (mm)	材 料	名 称	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	外 径 (mm)	厚 さ (mm)	材 料						
ド レ ン 移 送 系	弁MV252-4 ～ 弁V252-3040A, B出口ライ ン合流部*6, *7	0.98*4	66	76.3	5.2	STPT42	変 更 な し											
	76.3			5.2	SUS304TP													
	弁V252-3040A, B出口ライ ン合流部 ～ 弁V252-3025A, B出口ライ ン合流部*6, *7	0.98*4	66	89.1	5.5	STPT42							変 更 な し					
	弁V252-3025A, B出口ライ ン合流部 ～ 床ドレンタンク・化学廃 液タンク入口収集管*6, *7																	

変更前						変更後					
名称	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	外 径*1 (mm)	厚 さ*1 (mm)	材 料	名称	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	外 径 (mm)	厚 さ (mm)	材 料
ド レ ン 移 送 系	H P C S ポンプ室床ドレ ンサンプポンプ ～ 弁V252-3040A, B*8, *9, *10	0.98*4	66	60.5	5.5	STPT42	変 更 な し				
	弁V252-3040A, B ～ 弁V252-3035A, B出口ライ ン合流部*9, *10	0.98*4	66	60.5	5.5	STPT42	変 更 な し				
				76.3	5.2	STPT42					
				76.3*11	5.2*11	STPT410*11					
	弁V252-3035A, B出口ライ ン合流部 ～ 弁V252-3040A, B出口ライ ン合流部*9, *10	0.98*4	66	89.1	5.5	STPT42	変 更 な し				
				89.1*11	5.5*11	STPT410*11					

変更前						変更後					
名 称	最高使用 圧 力 (MPa)	最高使用 温 度 (°C)	外 径*1 (mm)	厚 さ*1 (mm)	材 料	名 称	最高使用 圧 力 (MPa)	最高使用 温 度 (°C)	外 径 (mm)	厚 さ (mm)	材 料
ド レ ン 移 送 系	RHRポンプ室床ドレン サンプポンプ ～ 弁V252-3035A, B*8, *12	0.98*4	66	60.5	5.5	STPT42	変 更 な し				
	弁V252-3035A, B ～ 弁V252-3035A, B出口ライ ン合流部*12	0.98*4	66	60.5	5.5	STPT42	変 更 な し				
				76.3	5.2	STPT42					
	原子炉建物床ドレンサン プポンプ ～ 弁V252-3025A, B*8, *13, *14	0.98*4	66	60.5	5.5	STPT42	変 更 な し				
弁V252-3025A, B ～ 弁V252-3030A, B出口ライ ン合流部*13, *14	0.98*4	66	60.5	5.5	STPT42	変 更 な し					
			76.3	5.2	STPT42						

変更前						変更後						
名	称	最高使用 圧 力 (MPa)	最高使用 温 度 (°C)	外 径*1 (mm)	厚 さ*1 (mm)	材 料	名 称	最高使用 圧 力 (MPa)	最高使用 温 度 (°C)	外 径 (mm)	厚 さ (mm)	材 料
ド レ ン 移 送 系	弁V252-3030A, B出口ライ ン合流部 ～ 弁V252-3025A, B出口ライ ン合流部*13, *14	0.98*4	66	89.1	5.5	STPT42	変 更 な し					
	L P C S ポンプ室床ドレ ンサンプポンプ ～ 弁V252-3030A, B*8, *15	0.98*4	66	60.5	5.5	STPT42	変 更 な し					
	弁V252-3030A, B ～ 弁V252-3030A, B出口ライ ン合流部*15	0.98*4	66	60.5	5.5	STPT42	変 更 な し					
76.3	5.2			STPT42								

変更前						変更後										
名称	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	外 径*1 (mm)	厚 さ*1 (mm)	材 料	名称	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	外 径 (mm)	厚 さ (mm)	材 料					
ドレン移送系	タービン建物発電機架台北機器ドレンサンプポンプ	0.98*4	66	60.5	5.5	STPT42	変更なし									
	タービン建物復水器室機器ドレンサンプポンプ出口ライン合流部*16, *17			76.3	5.2	STPT42										
	タービン建物復水器室機器ドレンサンプポンプ出口ライン合流部	0.98*4	66	89.1	5.5	STPT42						変更なし				
	機器ドレンタンク入口収集管*16, *17			1.37*4	89.1	5.5										
	タービン建物復水器室機器ドレンサンプポンプ	0.98*4	66	60.5	5.5	STPT42						変更なし				
	タービン建物復水器室機器ドレンサンプポンプ出口ライン合流部*18			76.3	5.2	STPT42										

変更前							変更後				
名 称	最高使用 圧 力 (MPa)	最高使用 温 度 (℃)	外 径*1 (mm)	厚 さ*1 (mm)	材 料	名 称	最高使用 圧 力 (MPa)	最高使用 温 度 (℃)	外 径 (mm)	厚 さ (mm)	材 料
ドレン 移送系	タービン建物逆洗水ポンプ 室床ドレンサンプポンプ ～ 弁V252-3211A, B*8, *19, *20	0.98*4	66	60.5	3.9	SUS304TP	変 更 な し				
	弁V252-3211A, B ～ 弁V252-3219出口ライン合 流部*19, *20	0.98*4	66	60.5	3.9	SUS304TP	変 更 な し				
				76.3	5.2	SUS304TP					
	弁V252-3219出口ライン合 流部 ～ タービン建物床ドレンサン プ移送ライン合流部*19, *20	0.98*4	66	89.1	5.5	SUS304TP	変 更 な し				
タービン建物床ドレンサン プ移送ライン合流部 ～ 床ドレンタンク・化学廃液 タンク入口収集管*19, *20	0.98*4	66	89.1	5.5	SUS304TP	変 更 な し					

変更前						変更後							
名	称	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	外 径*1 (mm)	厚 さ*1 (mm)	材 料	名 称	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	外 径 (mm)	厚 さ (mm)	材 料	
ド レ ン 移 送 系	タービン建物配管室床ド レンサンプポンプ ～ 弁V252-3219*8, *21	0.98*4	66	60.5	5.5	STPT42	変更なし						
	60.5*11			5.5*11	STPT410*11								
	弁V252-3219 ～ 弁V252-3219出口ライン合 流部*21	0.98*4	66	76.3	5.2	SUS304TP							変更なし
	廃棄物処理建物機器ドレ ンサンプポンプ ～ 機器ドレンタンク入口収 集管*22	0.98*4	66	60.5	5.5	STPT42							変更なし
1.37*4	60.5	5.5		STPT42									
	76.3	5.2	STPT42										
	廃棄物処理建物床ドレ ンサンプポンプ ～ 弁V252-3404A, B*8, *23	0.98*4	66	60.5	5.5	STPT42	変更なし						

変 更 前						変 更 後					
名 称	最高使用 圧 力 (MPa)	最高使用 温 度 (°C)	外 径*1 (mm)	厚 さ*1 (mm)	材 料	名 称	最高使用 圧 力 (MPa)	最高使用 温 度 (°C)	外 径 (mm)	厚 さ (mm)	材 料
ド レ ン 移 送 系	弁V252-3404A, B ～ 床ドレンタンク・化学廃 液タンク入口収集管*23	0.98*4	66	60.5	5.5	STPT42	変 更 な し				
	76.3			5.2	STPT42						
	廃棄物処理建物化学廃液 サンプポンプ ～ 床ドレンタンク・化学廃 液タンク入口収集管*24	0.98*4	66	60.5	3.9	SUS316TP					
RHRフラッシング用サ ンプポンプ ～ 弁AV252-101入口ライン 分岐部*25	0.98*4	66	114.3	6.0	STPT42	変 更 な し					

変 更 前						変 更 後					
名 称	最高使用 圧 力 (MPa)	最高使用 温 度 (°C)	外 径*1 (mm)	厚 さ*1 (mm)	材 料	名 称	最高使用 圧 力 (MPa)	最高使用 温 度 (°C)	外 径 (mm)	厚 さ (mm)	材 料
ド レ ン 移 送 系	弁AV252-101入口ライン 分岐部 ～ 弁AV252-10*25	0.98*4	66	114.3	6.0	STPT42	変 更 な し				
	弁AV252-101入口ライン 分岐部 ～ 弁AV252-101*26	0.98*4	66	114.3	6.0	STPT42	変 更 な し				

注：記載の適正化を行う。既工事計画書には名称欄文末に「～まで」と記載

注記*1：公称値を示す。

*2：記載の適正化を行う。既工事計画書には「ドライウエル機器ドレンサンプポンプ出口管」と記載

*3：記載の適正化を行う。既工事計画書には「ドライウエル機器ドレンサンプポンプから「機器ドレンタンク入口収集管」の合流点まで」と記載

*4：S I 単位に換算したものである。

*5：記載の適正化を行う。既工事計画書には「原子炉建物機器ドレンサンプポンプから「ドライウエル機器ドレンサンプポンプ出口管」の合流点まで」と記載

*6：記載の適正化を行う。既工事計画書には「ドライウエル床ドレンサンプポンプ出口管」と記載

*7：記載の適正化を行う。既工事計画書には「ドライウエル床ドレンサンプポンプから「床ドレンタンク・化学廃液タンク入口収集管」の合流点まで」と記載

*8：本設備は記載の適正化を行うものであり、手続き対象外である。

*9：記載の適正化を行う。既工事計画書には「HPC S ポンプ室床ドレンサンプポンプ出口管」と記載

- *10：記載の適正化を行う。既工事計画書には「HPC Sポンプ室床ドレンサンプポンプから「ドライウエル床ドレンサンプポンプ出口管」の合流点まで」と記載
- *11：既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。
- *12：記載の適正化を行う。既工事計画書には「RHRポンプ室床ドレンサンプポンプから「HPC Sポンプ室床ドレンサンプポンプ出口管」の合流点まで」と記載
- *13：記載の適正化を行う。既工事計画書には「原子炉建物床ドレンサンプポンプ出口管」と記載
- *14：記載の適正化を行う。既工事計画書には「原子炉建物床ドレンサンプポンプから「ドライウエル床ドレンサンプポンプ出口管」の合流点まで」と記載
- *15：記載の適正化を行う。既工事計画書には「LPC Sポンプ室床ドレンサンプポンプから「原子炉建物床ドレンサンプポンプ出口管」の合流点まで」と記載
- *16：記載の適正化を行う。既工事計画書には「タービン建物発電機架台北機器ドレンサンプポンプ出口管」と記載
- *17：記載の適正化を行う。既工事計画書には「タービン建物発電機架台北機器ドレンサンプポンプから「機器ドレンタンク入口収集管」の合流点まで」と記載
- *18：記載の適正化を行う。既工事計画書には「タービン建物復水器室機器ドレンサンプポンプから「タービン建物発電機架台北機器ドレンサンプポンプ出口管」の合流点まで」と記載
- *19：記載の適正化を行う。既工事計画書には「タービン建物逆洗水ポンプ室床ドレンサンプポンプ出口管」と記載
- *20：記載の適正化を行う。既工事計画書には「タービン建物逆洗水ポンプ室床ドレンサンプポンプから「床ドレンタンク・化学廃液タンク入口収集管」の合流点まで」と記載
- *21：記載の適正化を行う。既工事計画書には「タービン建物配管室床ドレンサンプポンプから「タービン建物逆洗水ポンプ室床ドレンサンプポンプ出口管」の合流点まで」と記載
- *22：記載の適正化を行う。既工事計画書には「廃棄物処理建物機器ドレンサンプポンプから「機器ドレンタンク入口収集管」の合流点まで」と記載
- *23：記載の適正化を行う。既工事計画書には「廃棄物処理建物床ドレンサンプポンプから「床ドレンタンク・化学廃液タンク入口収集管」の合流点まで」と記載
- *24：記載の適正化を行う。既工事計画書には「廃棄物処理建物化学廃液サンプポンプから「床ドレンタンク・化学廃液タンク入口収集管」の合

流点まで」と記載

*25：記載の適正化を行う。既工事計画書には「RHRフラッシング用サンプポンプから機器ドレン系との取合点まで」と記載

*26：記載の適正化を行う。既工事計画書には「「RHRフラッシング用サンプポンプから機器ドレン系との取合点まで」の分岐点から床ドレン
化学廃液系との取合点まで」と記載

2.2.2 機器ドレン系

(4) 容器の名称, 種類, 容量, 最高使用圧力, 最高使用温度, 主要寸法, 材料及び個数並びに漏えい防止のための制御方法

		変更前		変更後			
名	称	機器ドレンタンク (1, 2号機共用)		変 更 な し			
種	類	— たて置円筒形					
容	量	m ³ /個	155 以上* ¹ (155* ²)				
最	高	使	用				
圧	力	MPa	静水頭				
最	高	使	用				
温	度	℃	66				
主	胴	内	径		mm	5600* ²	
	胴	板	厚		さ	mm	□* ³ (12.0* ²)
	鏡	板	厚		さ	mm	□* ³ (12.0* ²)
要	鏡板の形状に係る寸法* ³	mm	5600* ² (鏡板の中央部における内面の半径)				
			560* ² (鏡板のすみの丸みの内半径)				
寸	平	板	厚		さ* ¹	mm	12.0* ²
	管	台	外		径(機器ドレン入口)* ¹	mm	216.3* ²
	管	台	厚		さ(機器ドレン入口)* ¹	mm	8.2* ²
	管	台	外		径(機器ドレン出口)* ¹	mm	165.2* ²
法	管	台	厚		さ(機器ドレン出口)* ³	mm	□ (7.1* ²)
	管	台	外		径(オーバーフロー)* ¹	mm	139.8* ²
	管	台	厚		さ(オーバーフロー)* ³	mm	□ (6.6* ²)
	高	さ* ⁴	mm		7368* ²		
材	胴	板	—	SM41A (内面ゴムライニング)			
	鏡	板	—	SM41A (内面ゴムライニング)			
個	数	—	2				
漏えい防止のための制御方法* ⁵		—	水位高によるタンク入口弁自動切替回路				

注記*1: 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は, 設計図書による。

*2: 公称値を示す。

*3: 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は, 昭和 59 年 9 月 17 日付け 59 資庁第 8283 号にて認可された工事計画の添付書類「IV-3-3-2-4 機器ドレンタンクの強度計算書」による。

*4: 記載の適正化を行う。既工事計画書には「全高 8200」と記載

*5: 記載の適正化を行う。既工事計画書には「制御方法」と記載

		変更前	変更後									
名	称	トーラス水受入タンク (1, 2号機共用)	変 更 な し									
種	類	—										
容	量	m ³ /個										
最	高	使用										
圧	力	MPa										
最	高	使用										
温	度	℃										
主 要 寸 法	洞	内		径	mm	15500* ²						
	洞	板		厚	さ	mm	□* ³ (12.0* ²), □* ³ (10.0* ²), □* ³ (8.0* ²), □* ³ (7.0* ²), □* ³ (6.0* ²)					
	底	板		厚	さ	mm	□* ³ (9.0* ²)					
	管	台		外	径	(トーラス水入口)* ¹	mm	114.3* ²				
	管	台		厚	さ	(トーラス水入口)* ³	mm	□* ³ (6.0* ² , * ³)				
	管	台		外	径	(トーラス水出口)* ¹	mm	114.3* ²				
	管	台		厚	さ	(トーラス水出口)* ³	mm	□* ³ (6.0* ² , * ³)				
	管	台		外	径	(オーバーフロー)* ¹	mm	216.3* ²				
	管	台		厚	さ	(オーバーフロー)* ³	mm	□* ³ (8.2* ² , * ³)				
	洞	マ		ン	ホ	ール	管	台	外	径	mm	609.6* ¹
	洞	マ		ン	ホ	ール	管	台	厚	さ	mm	□* ³ (12.0* ² , * ³)
	洞	マ		ン	ホ	ール	平	板	厚	さ	mm	□* ³ (38.0* ² , * ³)
	高	さ		* ⁴	mm	12180						
材 料	洞	板		—	SM41A (内面樹脂コーティング)							
	底	板	—	SM41A (内面樹脂コーティング)								
	洞	マ	ン	ホ	ール	平	板	—	SM41A* ¹			
個	数	—	1									
漏えい防止のための制御方法* ⁵		—	水位高による受入ポンプ自動停止回路									

注記*1：既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

*2：公称値を示す。

*3：既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、昭和59年9月17日付け59資庁第8283号にて認可された工事計画の添付書類「IV-3-3-2-6 トーラス水受入タンクの強度計算書」による。

*4：記載の適正化を行う。既工事計画書には「全高12180」と記載

*5：記載の適正化を行う。既工事計画書には「制御方法」と記載

(10) 主配管の名称, 最高使用圧力, 最高使用温度, 外径, 厚さ及び材料

変更前						変更後					
名	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	外 径* ¹ (mm)	厚 さ (mm)	材 料	名 称	最高使用 圧 力 (MPa)	最高使用 温 度 (°C)	外 径 (mm)	厚 さ (mm)	材 料
機器ドレン系	機器ドレンタンク入口収 集管 (1, 2号機共用)	1.37	66	216.3	8.2* ¹	STPT42	変更なし				
				77.0* ²	□* ² (7.95* ¹ , * ²)	S25C* ²					
				69.3* ²	□* ² (8.3* ¹ , * ²)	S25C* ²					
弁AV252-10 ～ 機器ドレンタンク入口収 集管* ³ (1, 2号機共用)	1.37	66	114.3	6.0* ¹	STPT42	変更なし					
機器ドレンタンク ～ 機器ドレンポンプ (1, 2号機共用)	静水頭	66	165.2	7.1* ¹	STPT42	変更なし					
	1.37	66	165.2	7.1* ¹	STPT42						

変更前						変更後																		
名	称	最高使用 圧 力 (MPa)	最高使用 温 度 (°C)	外 径*1 (mm)	厚 さ*1 (mm)	材 料	名 称	最高使用 圧 力 (MPa)	最高使用 温 度 (°C)	外 径 (mm)	厚 さ (mm)	材 料												
機器 ドレン系	A-機器ドレンポンプ ～ A-機器ドレンポンプ出口 ライン合流部*4 (1, 2号機共用)	1.37	66	139.8	6.6	STPT42	変更なし																	
	114.3			6.0	STPT42																			
	B-機器ドレンポンプ ～ B-機器ドレンポンプ出口 ライン合流部*4 (1, 2号機共用)	1.37	66	139.8	6.6	STPT42							変更なし											
	114.3			6.0	STPT42																			
	A-機器ドレンポンプ出口 ライン合流部 ～ B-機器ドレンポンプ出口 ライン合流部*4 (1, 2号機共用)	1.37	66	114.3	6.0	STPT42													変更なし					
A-機器ドレンポンプ出口 ライン合流部 ～ 機器ドレンろ過脱塩器*4 (1, 2号機共用)	1.37	66	114.3	6.0	STPT42	変更なし																		

変更前						変更後					
名 称	最高使用 圧 力 (MPa)	最高使用 温 度 (°C)	外 径*1 (mm)	厚 さ*1 (mm)	材 料	名 称	最高使用 圧 力 (MPa)	最高使用 温 度 (°C)	外 径 (mm)	厚 さ (mm)	材 料
機器 ドレン系	機器ドレンろ過脱塩器 ～ 機器ドレン脱塩器 (1, 2号機共用)	1.37	66	114.3	6.0	SUS304TP	変更なし				
	機器ドレンろ過脱塩器 ～ 凝縮水ろ過脱塩器出口ラ イン合流部*5 (1, 2号機共用)	1.37	66	165.2	7.1	SUS304TP	変更なし				
				165.2	7.1	STPT42					
	凝縮水ろ過脱塩器出口ラ イン合流部 ～ 機器ドレンろ過脱塩装置 逆洗水受タンク*5 (1, 2号機共用)	1.37	66	165.2	7.1	STPT42	変更なし				
	機器ドレン脱塩器 ～ 弁AV252-44*6 (1, 2号機共用)	1.37	66	114.3	6.0	SUS304TP	変更なし				

変更前						変更後					
名 称	最高使用 圧 力 (MPa)	最高使用 温 度 (°C)	外 径*1 (mm)	厚 さ*1 (mm)	材 料	名 称	最高使用 圧 力 (MPa)	最高使用 温 度 (°C)	外 径 (mm)	厚 さ (mm)	材 料
機器 ドレン系	弁AV252-44 ～ 弁AV252-3*6, *7 (1, 2号機共用)	1.37	66	114.3	6.0	SUS304TP	変更なし				
	弁AV252-3 ～ 機器ドレン処理水タンク *6, *7 (1, 2号機共用)	1.37	66	114.3	6.0	SUS304TP	変更なし				
	機器ドレン脱塩器 ～ 凝縮水脱塩器出口ライン 合流部*8 (1, 2号機共用)	1.37	66	89.1	5.5	SUS304TP	変更なし				
	凝縮水脱塩器出口ライン 合流部 ～ 弁V253-302*8 (1, 2号機共用)	1.37	66	89.1	5.5	SUS304TP	変更なし				
			114.3	6.0	SUS304TP						

変更前						変更後						
名	称	最高使用 圧 力 (MPa)	最高使用 温 度 (°C)	外 径*1 (mm)	厚 さ*1 (mm)	材 料	名 称	最高使用 圧 力 (MPa)	最高使用 温 度 (°C)	外 径 (mm)	厚 さ (mm)	材 料
機器 ドレ ン系	弁AV252-3 ～ 弁AV252-5A, B*2, *7 (1, 2号機共用)	1.37	66	114.3	6.0	STPT42	変 更 な し					
	弁AV252-5A, B ～ 機器ドレンタンク*2 (1, 2号機共用)	1.37	66	114.3	6.0	STPT42	変 更 な し					
	機器ドレン処理水ポンプ ～ 弁V252-30入口ライン分岐 部*7, *9 (1, 2号機共用)	0.98	66	114.3	6.0	SUS304TP	変 更 な し					
	弁V252-30入口ライン分岐 部 ～ 弁V252-37*7, *9 (1, 2号機共用)	0.98	66	114.3	6.0	SUS304TP	変 更 な し					

変更前							変更後					
名	称	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	外 径*1 (mm)	厚 さ*1 (mm)	材 料	名 称	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	外 径 (mm)	厚 さ (mm)	材 料
機器 ドレン系	弁V252-37 ～ 復水貯蔵タンク入口ライ ン分岐部*9 (1, 2号機共用)	0.98	66	114.3	6.0	SUS304TP	変更なし					
	復水貯蔵タンク入口ライ ン分岐部 ～ 弁V271-224*9 (1, 2号機共用)	0.98	66	114.3	6.0	SUS304TP	変更なし					
	弁V252-198 ～ 弁V252-198 出口ライン合 流部*7, *10 (1, 2号機共用)	0.98	66	89.1	5.5	SUS304TP	変更なし					
	弁V252-198 出口ライン合 流部 ～ 弁V252-30 入口ライン分岐 部*7, *10 (1, 2号機共用)	0.98	66	114.3	6.0	SUS304TP	変更なし					

変更前						変更後					
名 称	最高使用 圧 力 (MPa)	最高使用 温 度 (°C)	外 径*1 (mm)	厚 さ*1 (mm)	材 料	名 称	最高使用 圧 力 (MPa)	最高使用 温 度 (°C)	外 径 (mm)	厚 さ (mm)	材 料
機器 ドレン 系	弁V252-198出口ライン合 流部 ～ 弁V252-30*2, *7 (1, 2号機共用)	0.98	66	114.3	6.0	SUS304TP	変 更 な し				
	弁V252-30 ～ 機器ドレンタンク入口収 集管*2 (1, 2号機共用)	1.37	66	114.3	6.0	STPT42	変 更 な し				
	復水貯蔵タンク入口ライ ン分岐部 ～ 弁V271-225*11 (1, 2号機共用)	0.98	66	114.3	6.0	SUS304TP	変 更 な し				

変更前						変更後					
名 称	最高使用 圧 力 (MPa)	最高使用 温 度 (°C)	外 径*1 (mm)	厚 さ*1 (mm)	材 料	名 称	最高使用 圧 力 (MPa)	最高使用 温 度 (°C)	外 径 (mm)	厚 さ (mm)	材 料
機器ドレン系	弁V52-5501入口ライン分岐部 ～ 弁V252-116出口ライン合流部*12, *13 (1, 2号機共用)	1.67	66	114.3	6.0	STPT42	変更なし				
	弁V252-116出口ライン合流部 ～ 機器ドレンポンプ出口1号機補助サージタンク入口ライン合流部*12, *13 (1, 2号機共用)	1.67	66	114.3	6.0	STPT42	変更なし				
	機器ドレンポンプ出口1号機補助サージタンク入口ライン合流部 ～ トラス水受入タンク出口機器ドレンタンク入口ライン分岐部*12, *13 (1, 2号機共用)	1.67	66	114.3	6.0	STPT42	変更なし				

変更前						変更後					
名 称	最高使用 圧 力 (MPa)	最高使用 温 度 (°C)	外 径*1 (mm)	厚 さ*1 (mm)	材 料	名 称	最高使用 圧 力 (MPa)	最高使用 温 度 (°C)	外 径 (mm)	厚 さ (mm)	材 料
機器ドレン系	トーラス水受入タンク出口 機器ドレンタンク入口 ライン分岐部 ～ 弁252-21*12, *13 (1, 2号機共用)	1.67	66	114.3	6.0	STPT42	変更なし				
	弁252-21 ～ 機器ドレンポンプ出口 トーラス水受入タンク移送 ライン合流部*14, *15 (1, 2号機共用)	1.37	66	114.3	6.0	STPT42	変更なし				
	機器ドレンポンプ出口 トーラス水受入タンク移送 ライン合流部 ～ トーラス水受入タンク出口 ライン合流部*14, *15 (1, 2号機共用)	1.37	66	114.3	6.0	STPT42	変更なし				

変更前						変更後					
名称	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	外 径*1 (mm)	厚 さ*1 (mm)	材 料	名称	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	外 径 (mm)	厚 さ (mm)	材 料
機器 ドレン 系	トーラス水受入タンク出 口ライン合流部 ～ トーラス水受入タンク *14, *15 (1, 2号機共用)	1.37	66	114.3	6.0	STPT42	変更なし				
	静水頭	66	114.3	6.0	STPT42						
	トーラス水受入タンク ～ トーラス水受入タンク出 口ライン合流部*14, *16 (1, 2号機共用)	静水頭	66	114.3	6.0	STPT42	変更なし				
	1.37	66	114.3	6.0	STPT42						
	弁V52-5501入口ライン分 岐部 ～ 弁V52-5501*17, *18 (1, 2号機共用)	1.67	66	114.3	6.0	STPT42	—*19				
	B-機器ドレンポンプ出口 ライン合流部 ～ 機器ドレンポンプ出口ラ イン合流部*20 (1, 2号機共用)	1.37	66	89.1	5.5	STPT42	変更なし				

変更前						変更後					
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	材料	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料
機器ドレン系	機器ドレンポンプ出口ライン合流部 ～ 弁V252-118出口ライン合流部*20 (1, 2号機共用)	1.37	66	89.1	5.5	STPT42	変更なし				
	弁V252-118出口ライン合流部 ～ 機器ドレンポンプ出口トーラス水受入タンク移送ライン合流部*20 (1, 2号機共用)	1.37	66	89.1	5.5	STPT42	変更なし				
	機器ドレンポンプ出口ライン合流部 ～ 機器ドレンポンプ出口1号機補助サージタンク入口ライン合流部*21 (1, 2号機共用)	1.37	66	89.1	5.5	STPT42	—*19				
		1.67	66	89.1	5.5	STPT42					

変更前						変更後					
名 称	最高使用 圧 力 (MPa)	最高使用 温 度 (°C)	外 径*1 (mm)	厚 さ*1 (mm)	材 料	名 称	最高使用 圧 力 (MPa)	最高使用 温 度 (°C)	外 径 (mm)	厚 さ (mm)	材 料
機器ドレン系	弁V252-118 ～ 弁V252-118出口ライン合 流部*22 (1, 2号機共用)	1.37	66	89.1	5.5	STPT42	変更なし				
	弁V252-116 ～ 弁V252-116出口ライン合 流部*23 (1, 2号機共用)	1.67	66	89.1	5.5	STPT42	—*19				
	トーラス水受入タンク出 口機器ドレンタンク入 口ライン分岐部 ～ トーラス水受入タンク出 口機器ドレンタンク移送 ライン分岐部*24 (1, 2号機共用)	1.67	66	114.3	6.0	STPT42	変更なし				

変更前						変更後						
名	称	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	外 径*1 (mm)	厚 さ*1 (mm)	材 料	名 称	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	外 径 (mm)	厚 さ (mm)	材 料
機 器 ド レ ン 系	トーラス水受入タンク出口機器ドレンタンク移送ライン分岐部	1.67	66	114.3	6.0	STPT42	変更なし					
	～ 機器ドレンタンク入口収集管*24 (1, 2号機共用)	1.37	66	114.3	6.0	STPT42						
	トーラス水受入タンク出口機器ドレンタンク移送ライン分岐部	1.67	66	114.3	6.0	STPT42	変更なし					
	～ 床ドレンタンク・化学廃液タンク入口収集管*25 (1, 2号機共用)	0.98	66	114.3	6.0	STPT42						

注：記載の適正化を行う。既工事計画書には名称欄文末に「～まで」と記載

注記*1：公称値を示す。

*2：既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

*3：記載の適正化を行う。既工事計画書には「ドレン移送系との取合点から「機器ドレンタンク入口収集管」の合流点まで」と記載

*4：記載の適正化を行う。既工事計画書には「機器ドレンポンプから機器ドレンろ過脱塩器まで」と記載

*5：記載の適正化を行う。既工事計画書には「機器ドレンろ過脱塩器から使用済樹脂・フィルタスラッジ系機器ドレンろ過脱塩装置逆洗水受タンクまで」と記載

- *6 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「機器ドレン脱塩器から機器ドレン処理水タンクまで」と記載
- *7 : 本設備は記載の適正化のみを行うものであり、手続き対象外である。
- *8 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「機器ドレン脱塩器から使用済樹脂・フィルタスラッジ系との取合点まで」と記載
- *9 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「機器ドレン処理水ポンプから復水輸送系との取合点（復水貯蔵タンク）まで」と記載
- *10 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「床ドレン化学廃液系との取合点から「機器ドレン処理水ポンプから復水輸送系との取合点（復水貯蔵タンク）まで」の合流点まで」と記載
- *11 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「「機器ドレン処理水ポンプから復水輸送系との取合点（復水貯蔵タンク）まで」の分岐点から復水輸送系との取合点（補助復水貯蔵タンク）まで」と記載
- *12 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「第1号機補助サージタンク連絡管」と記載
- *13 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「第1号機液体廃棄物処理系（補助サージタンクへ）との取合点からトーラス水受入タンク出入口管との取合点まで」と記載
- *14 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「トーラス水受入タンク出入口管」と記載
- *15 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「第1号機補助サージタンク連絡管との取合点からトーラス水受入タンクまで」と記載
- *16 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「トーラス水受入タンクから「第1号機補助サージタンク連絡管との取合点からトーラス水受入タンクまで」の合流点まで」と記載
- *17 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「第1号機廃液コレクタタンク連絡管」と記載
- *18 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「「トーラス水受入タンク出入口管との取合点から第1号機液体廃棄物処理系（補助サージタンクへ）との取合点まで」の分岐点から第1号機液体廃棄物処理系（廃液コレクタタンクへ）との取合点まで」と記載
- *19 : 当該配管については、1, 2号機共用の取止めに伴い機能廃止とする。
- *20 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「「機器ドレンポンプから機器ドレンろ過脱塩器まで」の分岐点からトーラス水受入タンク出入口管との合流点まで」と記載
- *21 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「「機器ドレンポンプから機器ドレンろ過脱塩器まで」の分岐点からトーラス水受入タンク出入口管との合流点まで」の分岐点から第1号機補助サージタンク連絡管との合流点まで」と記載

- *22 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「床ドレン化学廃液系との取合点から「機器ドレンポンプから機器ドレンろ過脱塩器まで」の分岐点からトラス水受入タンク出入口管との合流点まで」との合流点まで」と記載
- *23 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「床ドレン化学廃液系との取合点から第1号機補助サージタンク連絡管との合流点まで」と記載
- *24 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「第1号機補助サージタンク連絡管との分岐点から機器ドレンタンク集合管との取合点まで」と記載
- *25 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「第1号機補助サージタンク連絡管との分岐点から機器ドレンタンク集合管との取合点まで」との分岐点から床ドレン化学廃液系との取合点まで」と記載

2.2.3 床ドレン化学廃液系

- (1) 熱交換器の名称，種類，容量，最高使用圧力（管側及び胴側の別に記載すること。），最高使用温度（管側及び胴側の別に記載すること。），伝熱面積，主要寸法，材料及び個数

		変更前		変更後	
名 称		床ドレン濃縮器（1，2号機共用）		変更なし	
種 類		たて置直管式			
容 量（設計熱交換量）		MW/個	3.30* ¹		
管側	最高使用圧力	MPa	0.10* ¹		
	最高使用温度	℃	105		
胴側	最高使用圧力	MPa	0.49* ¹		
	最高使用温度	℃	175		
伝 熱 面 積		m ² /個	<input type="text"/> 以上* ² (<input type="text"/> * ³)		
主 要 寸 法	外 筒	上部胴内径* ⁴	mm		1700* ³
		下部胴内径* ⁵	mm		1300* ³
		上部胴板厚さ* ⁶	mm		<input type="text"/> * ⁷ (8.0* ³)
		下部胴板厚さ* ⁶	mm		<input type="text"/> * ⁷ (8.0* ³)
		円すい胴板厚さ* ⁶	mm		<input type="text"/> * ⁷ (8.0* ³)
		上部鏡板厚さ	mm		<input type="text"/> * ⁷ (8.0* ³)
		下部鏡板厚さ	mm		<input type="text"/> * ⁷ (9.0* ³)
	胴	上部鏡板の形状に係る寸法	mm		1700* ³ , * ⁷ (鏡板の中央部における内面の半径)
					170* ³ , * ⁷ (鏡板のすみの丸みの内半径)
	胴	下部鏡板の形状に係る寸法	mm		1318* ³ , * ⁷ (鏡板の外径)
					80* ³ , * ⁷ (鏡板のすその丸みの内半径)
	胴	フ ラ ン ジ 厚 さ	mm		65* ³ , * ⁷
	内筒胴	胴 内 径* ⁸	mm		1000* ³
胴 板 厚 さ		mm	<input type="text"/> * ⁷ (9.0* ³)		
管台外径（蒸発蒸気出口）		mm	318.5* ³ , * ⁷		
管台厚さ（蒸発蒸気出口）		mm	<input type="text"/> * ⁷ (9.0* ³ , * ⁷)		
管 台 外 径 (床ドレン入口及び処理液出口)		mm	60.5* ³ , * ⁷		
管 台 厚 さ (床ドレン入口及び処理液出口)		mm	<input type="text"/> * ⁷ (3.9* ³ , * ⁷)		
管台外径（加熱蒸気入口）		mm	216.3* ³ , * ⁷		
管台厚さ（加熱蒸気入口）		mm	<input type="text"/> * ⁷ (8.2* ³ , * ⁷)		

(つづき)

			変更前	変更後	
主 要 寸 法	管台外径 (加熱蒸気ドレン出口)	mm	60.5 ^{*3, *7}	変更 なし	
	管台厚さ (加熱蒸気ドレン出口)	mm	<input type="text"/> ^{*7} (3.9 ^{*3, *7})		
	管板厚さ	mm	<input type="text"/> ^{*7} (45.0 ^{*3})		
	伝熱管外径	mm	<input type="text"/> ^{*3}		
	伝熱管厚さ	mm	<input type="text"/> ^{*7} (<input type="text"/> ^{*3})		
	高さ ^{*9}	mm	6804.2		
材 料	外筒	上部胴板 ^{*10}	—		SUS316L
		下部胴板 ^{*10}	—		SUS316L
		円すい胴板 ^{*10}	—		SUS316L
	胴	上部鏡板	—		SUS316L
		下部鏡板	—	SUS316L	
		フランジ	—	SUS316L ^{*7}	
	内筒	胴板	—	SUS316L	
	管板	—	SUS316L		
伝熱管	—	SUS316LTB			
個数	—	2			

注記*1 : S I 単位に換算したものである。

*2 : 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

*3 : 公称値を示す。

*4 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「上部内径」と記載

*5 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「下部内径」と記載

*6 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「胴板厚さ」と記載

*7 : 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、昭和 59 年 9 月 17 日
付け 59 資庁第 8283 号にて認可された工事計画の添付書類「IV-3-3-2-12 床ドレン濃縮器の強度計算書」による。

*8 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「内径」と記載

*9 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「全高 7125」と記載

*10 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「胴板」と記載

		変更前		変更後	
名 称		化学廃液濃縮器 (加熱器) (1, 2号機共用)		変更なし	
種 類		— たて置直管式			
容 量 (設 計 熱 交 換 量)		MW/個	<input type="text"/> *1		
管 側	最 高 使 用 圧 力	MPa	0.10*1		
	最 高 使 用 温 度	℃	105		
胴 側	最 高 使 用 圧 力	MPa	0.49*1		
	最 高 使 用 温 度	℃	175		
伝 熱 面 積		m ² /個	<input type="text"/> 以上*2 (<input type="text"/> *3)		
主 側	管	胴 内 径*4	mm		850*3
		円 す い 胴 板 厚 さ*5	mm		<input type="text"/> *6 (9.0*3)
		鏡 板 厚 さ*7	mm		<input type="text"/> *6 (9.0*3)
		鏡板の形状に係る寸法	mm		850*3, *6 (鏡板の中央部における内面の半径)
					85*3, *6 (鏡板のすみの丸みの内半径)
	フ ラ ン ジ 厚 さ	mm	30*3, *6		
胴 側	胴 内 径*8	mm	850*3		
	胴 板 厚 さ*9	mm	<input type="text"/> *6 (9.0*3)		
寸 法	管 台 外 径 (化 学 廃 液 入 口)		mm		318.5*3, *6
	管 台 厚 さ (化 学 廃 液 入 口)		mm		<input type="text"/> *6 (9.0*3, *6)
	管 台 外 径 (化 学 廃 液 出 口)		mm		457.2*3, *6
	管 台 厚 さ (化 学 廃 液 出 口)		mm		<input type="text"/> *6 (9.0*3, *6)
	管 台 外 径 (加 熱 蒸 気 入 口)		mm		165.2*3, *6
	管 台 厚 さ (加 熱 蒸 気 入 口)		mm		<input type="text"/> *6 (7.1*3, *6)
	管 台 外 径 (加 熱 蒸 気 ド レ ン 出 口)		mm		89.1*3, *6
	管 台 厚 さ (加 熱 蒸 気 ド レ ン 出 口)		mm		<input type="text"/> *6 (5.5*3, *6)
	管 板 厚 さ		mm		<input type="text"/> *6 (55.0*3)
	伝 熱 管 外 径		mm		<input type="text"/> *3
伝 熱 管 厚 さ		mm	<input type="text"/> *6 (<input type="text"/> *3)		
高 さ*10		mm	3925		
材 料	管	円 す い 胴 板*11	—	SUS316L	
		鏡 板*12	—	SUS316L	
	側	フ ラ ン ジ	—	SUSF316L*6	

(つづき)

				変更前	変更後	
材 料	胴側	胴	板*13	—	SUS316L	変更なし
			板	—	SUS316L	
	伝	熱	管	—	SUS316LTB	
個		数	—	1		

注1：記載の適正化を行う。既工事計画書の主要寸法欄の「胴体鏡板厚さ」の記載を削除

注2：記載の適正化を行う。既工事計画書の材料欄の「胴体鏡板」の記載を削除

注記*1：S I 単位に換算したものである。

*2：既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

*3：公称値を示す。

*4：記載の適正化を行う。既工事計画書には「水室内径」と記載

*5：記載の適正化を行う。既工事計画書には「水室円すい胴板厚さ」と記載

*6：既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、昭和59年9月17日付け59資庁第8283号にて認可された工事計画の添付書類「IV-3-3-2-14 化学廃液濃縮器（加熱器）の強度計算書」による。

*7：記載の適正化を行う。既工事計画書には「水室鏡板厚さ」と記載

*8：記載の適正化を行う。既工事計画書には「胴体内径」と記載

*9：記載の適正化を行う。既工事計画書には「胴体胴板厚さ」と記載

*10：記載の適正化を行う。既工事計画書には「全高 4311」と記載

*11：記載の適正化を行う。既工事計画書には「水室円すい胴板」と記載

*12：記載の適正化を行う。既工事計画書には「水室鏡板」と記載

*13：記載の適正化を行う。既工事計画書には「胴体胴板」と記載

(4) 容器の名称, 種類, 容量, 最高使用圧力, 最高使用温度, 主要寸法, 材料及び個数並びに漏えい防止のための制御方法

		変更前		変更後
名称		床ドレンタンク (1, 2号機共用)		変更なし
種類	—	たて置円筒形		
容量	m ³ /個	100 以上* ¹ (100* ²)		
最高使用圧力	MPa	静水頭		
最高使用温度	℃	66		
主要寸法	胴内径	mm	4900* ²	
	胴板厚さ	mm	□* ³ (9.0* ²)	
	鏡板厚さ	mm	□* ³ (9.0* ²)	
鏡板の形状に係る寸法* ³	mm	4900* ² (鏡板の中央部における内面の半径)		
		490* ² (鏡板のすみの丸みの内半径)		
平板厚さ* ¹	mm	6.0* ²		
管台外径(床ドレン入口)* ¹	mm	165.2* ²		
管台厚さ(床ドレン入口)* ³	mm	□ (7.1* ²)		
管台外径(床ドレン出口)* ¹	mm	114.3* ²		
管台厚さ(床ドレン出口)* ³	mm	□ (6.0* ²)		
高さ* ⁴	mm	6256* ²		
材料	胴板	—	SUS304	
	鏡板	—	SUS304	
個数	—	2		
漏えい防止のための制御方法* ⁵		—	水位高によるタンク入口弁自動切替回路	

注記*1: 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は, 設計図書による。

*2: 公称値を示す。

*3: 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は, 昭和 59 年 9 月 17 日付け 59 資庁第 8283 号にて認可された工事計画の添付書類「IV-3-3-2-7 床ドレンタンクの強度計算書」による。

*4: 記載の適正化を行う。既工事計画書には「全高 7000」と記載

*5: 記載の適正化を行う。既工事計画書には「制御方法」と記載

		変更前	変更後	
名	称	化学廃液タンク（1，2号機共用）	変 更 な し	
種	類	— たて置円筒形		
容	量	m ³ /個 100 以上* ¹ (100* ²)		
最	高 使 用 圧 力	MPa 静水頭		
最	高 使 用 温 度	℃ 66		
主 要 寸 法	胴	内 径		mm 4900* ²
	胴	板 厚 さ		mm □* ³ (9.0* ²)
	鏡	板 厚 さ		mm □* ³ (9.0* ²)
	鏡板の形状に係る寸法* ³	mm		4900* ² (鏡板の中央部における内面の半径)
				490* ² (鏡板のすみの丸みの内半径)
	平	板 厚 さ* ¹		mm 6.0* ²
	管	台 外 径 (化 学 廃 液 入 口)* ¹		mm 165.2* ²
	管	台 厚 さ (化 学 廃 液 入 口)* ¹		mm 7.1* ²
	管	台 外 径 (化 学 廃 液 出 口)* ¹		mm 114.3* ²
	管	台 厚 さ (化 学 廃 液 出 口)* ³		mm □ (6.0* ²)
	管	台 外 径 (オ ー バ ー フ ロ ー)* ¹		mm 139.8* ²
	管	台 厚 さ (オ ー バ ー フ ロ ー)* ³		mm □ (6.6* ²)
高	さ* ⁴	mm 6206* ²		
材 料	胴	板		— SUS316
	鏡	板		— SUS316
個	数	— 1		
漏えい防止のための制御方法* ⁵		—	水位高によるタンク入口弁自動切替回路	

注記*1：既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

*2：公称値を示す。

*3：既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、昭和 59 年 9 月 17 日付け 59 資庁第 8283 号にて認可された工事計画の添付書類「IV-3-3-2-8 化学廃液タンクの強度計算書」による。

*4：記載の適正化を行う。既工事計画書には「全高 6950」と記載

*5：記載の適正化を行う。既工事計画書には「制御方法」と記載

(8) ろ過装置の名称, 種類, 容量, 最高使用圧力, 最高使用温度, 主要寸法, 材料及び個数

			変更前	変更後						
名	称		化学廃液濃縮器 (蒸発器) (1, 2号機共用)	変更なし						
種	類	—	たて置円筒形							
容	量	m ³ /h/個 [normal]	□以上*1 (3000*2, *3)							
最	高	使用	圧		力	MPa	0.10*3			
最	高	使用	温		度	℃	105			
主 要 寸 法	胴	内	径		mm	2000*2				
	胴	板	厚		さ	mm	□*4 (12.0*2)			
	円	す	い		胴	板	厚	さ	mm	□*4 (12.0*2)
	鏡	板	厚		さ	mm	□*4 (12.0*2)			
	鏡板の形状に係る寸法		mm		2000*2, *4 (鏡板の中央部における内面の半径)					
					200*2, *4 (鏡板のすみの丸みの内半径)					
	管台外径 (化学廃液入口)		mm		457.2*4					
	管台厚さ (化学廃液入口)		mm		□*4 (9.0*2, *4)					
	管台外径 (化学廃液出口)		mm		406.4*4					
	管台厚さ (化学廃液出口)		mm		□*4 (9.0*21, *4)					
	管台外径 (蒸発蒸気出口)		mm		457.2*4					
	管台厚さ (蒸発蒸気出口)		mm		□*4 (9.0*2, *4)					
	マンホール外径		mm		1218*4					
	マンホール厚さ		mm		□*4 (9.0*2, *4)					
マンホール平板厚さ		mm	□*4 (55.0*2, *4)							
高		さ*5	mm	5900						
材 料	胴	板	—	SUS316L						
	円	す	い	胴	板	—	SUS316L			
	鏡	板	—	SUS316L						
	マ	ン	ホ	ール	平	板	—	SUS316L*4		
個	数	—	1							

注記*1 : 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は, 設計図書による。

*2 : 公称値を示す。

*3 : SI 単位に換算したものである。

*4 : 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載の内容は, 昭和 59 年 9 月 17 日付け 59 資庁第 8283 号にて認可された工事計画の添付書類「IV-3-3-2-18

化学廃液濃縮器（蒸発器）の強度計算書」による。

*5 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「全高 6100」と記載

(10) 主配管の名称, 最高使用圧力, 最高使用温度, 外径, 厚さ及び材料

変 更 前						変 更 後					
名 称	最高使用 圧 力 (MPa)	最高使用 温 度 (°C)	外 径*1 (mm)	厚 さ (mm)	材 料	名 称	最高使用 圧 力 (MPa)	最高使用 温 度 (°C)	外 径 (mm)	厚 さ (mm)	材 料
床ドレンタンク・化学廃液 タンク入口収集管 (1, 2号機共用)	0.98	66	165.2	7.1*1	SUS304TP	変更なし					
			47.3*2	6.4*1, *2	SUS304*2						
			37.2*2	5.0*1, *2	SUS304*2						
			47.3*2	6.4*1, *2	SUS316*2						
			37.2*2	5.0*1, *2	SUS316*2						
			165.2	7.1*1	SUS316TP						
			77.0*2	7.95*1, *2	SUS316*2						
			64.7*2	6.0*1, *2	SUS316*2						
弁AV252-101 ～ 床ドレンタンク・化学廃液 タンク入口収集管*3 (1, 2号機共用)	0.98	66	114.3	6.0*1	STPT42	変更なし					
弁AV52-5501 ～ 床ドレンタンク・化学廃液 タンク入口収集管*4 (1, 2号機共用)	0.98	66	89.1	5.5*1	SUS316TP	変更なし					
床ドレンタンク ～ 床ドレンポンプ (1, 2号機共用)	静水頭	66	114.3	6.0*1	SUS304TP	変更なし					
	0.98	66	114.3	6.0*1	SUS304TP						

変更前						変更後																								
名	称	最高使用 圧 力 (MPa)	最高使用 温 度 (°C)	外 径*1 (mm)	厚 さ*1 (mm)	材 料	名 称	最高使用 圧 力 (MPa)	最高使用 温 度 (°C)	外 径 (mm)	厚 さ (mm)	材 料																		
床 ド レ ン 化 学 廃 液 系	A-床ドレンポンプ ～ 弁AV252-104A入口ライン分 岐部*5 (1, 2号機共用)	0.98	66	60.5	3.9	SUS304TP	変 更 な し																							
				89.1	5.5	SUS304TP																								
	B-床ドレンポンプ ～ 弁AV252-104B入口ライン分 岐部*5 (1, 2号機共用)	0.98	66	60.5	3.9	SUS304TP							変 更 な し																	
				89.1	5.5	SUS304TP																								
	弁AV252-104A, B入口ライ ン分岐部 ～ 化学廃液ポンプ出口ライン 合流部*5 (1, 2号機共用)	0.98	66	48.6	3.7	SUS304TP													変 更 な し											
				89.1	5.5	SUS304TP																								
	化学廃液ポンプ出口ライン 合流部 ～ 濃縮廃液タンク入口ライン 分岐部*5 (1, 2号機共用)	0.98	66	48.6	3.7	SUS304TP																			変 更 な し					
			105	48.6	3.7	SUS316LTP																								

変更前						変更後						
名	称	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	外 径*1 (mm)	厚 さ*1 (mm)	材 料	名 称	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	外 径 (mm)	厚 さ (mm)	材 料
床 ド レ ン 化 学 廃 液 系	濃縮廃液タンク入口ライン 分岐部 ～ 床ドレン濃縮器*5 (1, 2号機共用)	0.98	105	60.5	3.9	SUS316LTP	変 更 な し					
	弁AV252-104A入口ライン分 岐部 ～ 床ドレンポンプ出口ライン 合流部*6 (1, 2号機共用)	0.98	66	89.1	5.5	SUS304TP	変 更 な し					
				89.1	5.5	STPT42						
	弁AV252-104B入口ライン分 岐部 ～ 床ドレンポンプ出口ライン 合流部*6 (1, 2号機共用)	0.98	66	89.1	5.5	SUS304TP	変 更 な し					
89.1				5.5	STPT42							
床ドレンポンプ出口ライン 合流部 ～ トーラス水受入タンク入口 ライン分岐部*6 (1, 2号機共用)	0.98	66	89.1	5.5	STPT42	変 更 な し						

変更前						変更後					
名	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	外 径*1 (mm)	厚 さ*1 (mm)	材 料	名 称	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	外 径 (mm)	厚 さ (mm)	材 料
床 ド レ ン 化 学 廃 液 系	トーラス水受入タンク入口ラ イン分岐部 ～ 弁V252-116*6 (1, 2号機共用)	0.98	66	89.1	5.5	STPT42	—*7				
	トーラス水受入タンク入口ラ イン分岐部 ～ 弁V252-118*8 (1, 2号機共用)	0.98	66	89.1	5.5	STPT42	変 更 な し				
	濃縮廃液タンク入口ライン分 岐部 ～ 弁AV252-107A, B*9 (1, 2号機共用)	0.98	105	60.5	3.9	SUS316LTP	変 更 な し				
	床ドレン濃縮器 ～ 床ドレン濃縮器復水器 (1, 2号機共用)	0.10	100	318.5	10.3	SUS304TP	変 更 な し				
	床ドレン濃縮器復水器 ～ 弁AV252-111A, B*10 (1, 2号機共用)	静水頭	66	76.3	5.2	STPT42	変 更 な し				
114.3	6.0			STPT42							

変更前						変更後						
名 称	最高使用 圧 力 (MPa)	最高使用 温 度 (°C)	外 径*1 (mm)	厚 さ*1 (mm)	材 料	名 称	最高使用 圧 力 (MPa)	最高使用 温 度 (°C)	外 径 (mm)	厚 さ (mm)	材 料	
床 ド レ ン 化 学 廃 液 系	弁AV252-111A, B ～ 化学廃液濃縮器復水器出口ラ イン合流部*10, *11 (1, 2号機共用)	静水頭	66	76.3	5.2	STPT42	変更なし					
				114.3	6.0	STPT42						
	化学廃液濃縮器復水器出口ラ イン合流部 ～ 凝縮水受タンク*10, *11 (1, 2号機共用)	静水頭	66	114.3	6.0	STPT42						変更なし
	弁AV252-111A, B ～ 弁AV252-111A, B出口ライン合 流部*2 (1, 2号機共用)	静水頭	66	76.3	5.2	STPT42						変更なし
	弁AV252-111A, B出口ライン合 流部 ～ 弁AV252-115出口ライン合流部 *2 (1, 2号機共用)	静水頭	66	76.3	5.2	STPT42						変更なし

変更前						変更後					
名 称	最高使用	最高使用	外 径*1	厚 さ*1	材 料	名 称	最高使用	最高使用	外 径	厚 さ	材 料
	圧 力 (MPa)	温 度 (°C)	(mm)	(mm)			圧 力 (MPa)	温 度 (°C)	(mm)	(mm)	
床 ド レ ン 化 学 廃 液 系	弁AV252-115出口ライン合流部 ～ 床ドレンタンク・化学廃液タ ンク入口収集管*2 (1, 2号機共用)	静水頭	66	76.3	5.2	STPT42	変 更 な し				
	0.98	66	76.3	5.2	STPT42						
	化学廃液タンク ～ 化学廃液ポンプ (1, 2号機共用)	静水頭	66	114.3	6.0	SUS316TP	変 更 な し				
	0.98	66	114.3	6.0	SUS316TP						
	化学廃液ポンプ ～ 床ドレン濃縮器入口ライン分 岐部*12 (1, 2号機共用)	0.98	66	60.5	3.9	SUS316TP	変 更 な し				
	89.1			5.5	SUS316TP						
	48.6			3.7	SUS316TP						
	48.6			3.7	SUS304TP						
	床ドレン濃縮器入口ライン分 岐部 ～ 弁AV252-112入口ライン分岐部 *12 (1, 2号機共用)	0.98	66	34.0	3.4	SUS304TP	変 更 な し				
	105		34.0	3.4	SUS316LTP						

変 更 前							変 更 後					
名 称	最高使用 圧 力 (MPa)	最高使用 温 度 (°C)	外 径* ¹ (mm)	厚 さ (mm)	材 料	名称	最高使用 圧 力 (MPa)	最高使用 温 度 (°C)	外径 (mm)	厚 さ (mm)	材料	
床 ド レ ン 化 学 廃 液 系	弁AV252-112入口ライン分岐部 ～ 化学廃液濃縮器（蒸発器）入口 及び出口ライン分岐部* ¹² （1，2号機共用）	0.98	105	60.5	3.9* ¹	SUS316LTP	変 更 な し					
	化学廃液濃縮器（蒸発器） ～ 化学廃液濃縮器（蒸発器）入口 及び出口ライン分岐部* ¹² （1，2号機共用）	0.98	105	406.4	□* ¹³ (9.5* ¹)	SUS316LTP	変 更 な し					
				77.0* ²	□* ² (7.95* ¹ , * ²)	SUS316L* ²						
				64.7* ²	□* ² (6.0* ¹ , * ²)	SUS316L* ²						
	化学廃液濃縮器（蒸発器）入口 及び出口ライン分岐部 ～ 化学廃液濃縮器循環ポンプ* ¹⁴ （1，2号機共用）	0.98	105	406.4	□* ¹³ (9.5* ¹)	SUS316LTP	変 更 な し					
化学廃液濃縮器循環ポンプ ～ 化学廃液濃縮器（加熱器） （1，2号機共用）	0.98	105	318.5	10.3* ¹	SUS316LTP	変 更 な し						

変 更 前						変 更 後					
名 称	最高使用 圧 力 (MPa)	最高使用 温 度 (°C)	外 径*1 (mm)	厚 さ (mm)	材 料	名 称	最高使用 圧 力 (MPa)	最高使用 温 度 (°C)	外 径 (mm)	厚 さ (mm)	材 料
床 ド レ ン 化 学 廃 液 系	化学廃液濃縮器（加熱器） ～ 化学廃液濃縮器（蒸発器） （1，2号機共用）	0.10	105	457.2	□*13(9.0*1)	SUS316L	変 更 な し				
	床ドレン濃縮器入口ライン分岐部 ～ 化学廃液ポンプ出口ライン合流部*2 （1，2号機共用）	0.98	66	48.6	3.7*1	SUS304TP	変 更 な し				
	弁AV252-112入口ライン分岐部 ～ 弁AV252-112*15 （1，2号機共用）	0.98	105	60.5	3.9*1	SUS316LTP	変 更 な し				
	化学廃液濃縮器（蒸発器） ～ 化学廃液濃縮器復水器 （1，2号機共用）	0.10	100	457.2	□*13(9.5*1)	SUS304TP	変 更 な し				
	化学廃液濃縮器復水器 ～ 弁AV252-115*16 （1，2号機共用）	静水頭	66	76.3	5.2*1	STPT42	変 更 な し				
				114.3	6.0*1	STPT42					

変更前						変更後						
名	称	最高使用 圧 力 (MPa)	最高使用 温 度 (°C)	外 径*1 (mm)	厚 さ*1 (mm)	材 料	名 称	最高使用 圧 力 (MPa)	最高使用 温 度 (°C)	外 径 (mm)	厚 さ (mm)	材 料
床 ド レ ン 化 学 廃 液 系	弁AV252-115 ～ 化学廃液濃縮器復水器出口ライ ン合流部*11, *16 (1, 2号機共用)	静水頭	66	76.3	5.2	STPT42	変 更 な し					
	弁AV252-115 ～ 弁AV252-115出口ライン合流部*2 (1, 2号機共用)	静水頭	66	76.3	5.2	STPT42	変 更 な し					
	凝縮水ポンプ ～ 凝縮水ポンプ出口ライン分岐部 *11, *17 (1, 2号機共用)	1.37	66	60.5	5.5	STPT42	変 更 な し					
				89.1	5.5	STPT42						
	凝縮水ポンプ出口ライン分岐部 ～ 凝縮水ろ過脱塩器*11, *17 (1, 2号機共用)	1.37	66	89.1	5.5	STPT42	変 更 な し					
	凝縮水ろ過脱塩器 ～ 弁AV252-1010*11, *18 (1, 2号機共用)	1.37	66	114.3	6.0	SUS304TP	変 更 な し					
114.3				6.0	STPT42							

変更前							変更後					
名	称	最高使用	最高使用	外 径*1	厚 さ*1	材 料	名称	最高使用	最高使用	外 径	厚 さ	材 料
		圧 力 (MPa)	温 度 (°C)	(mm)	(mm)			圧 力 (MPa)	温 度 (°C)	(mm)	(mm)	
床 ド レ ン 化 学 廃 液 系	弁AV252-1010 ～ 凝縮水ろ過脱塩器出口ライン合 流部*18 (1, 2号機共用)	1.37	66	114.3	6.0	STPT42						変 更 な し
	凝縮水脱塩器 ～ 凝縮水脱塩器出口ライン分岐部 *11, *19 (1, 2号機共用)	1.37	66	89.1	5.5	SUS304TP						変 更 な し
	凝縮水脱塩器出口ライン分岐部 ～ 弁AV252-120*11, *19 (1, 2号機共用)	1.37	66	89.1	5.5	SUS304TP						変 更 な し
	弁AV252-120 ～ 処理水タンク*11, *19 (1, 2号機共用)	1.37	66	89.1	5.5	SUS304TP						変 更 な し
	凝縮水脱塩器出口ライン分岐部 ～ 凝縮水ポンプ出口ライン合流部*20 (1, 2号機共用)	1.37	66	89.1	5.5	SUS304TP						—*7

変更前						変更後					
名 称	最高使用 圧 力 (MPa)	最高使用 温 度 (°C)	外 径*1 (mm)	厚 さ*1 (mm)	材 料	名 称	最高使用 圧 力 (MPa)	最高使用 温 度 (°C)	外 径 (mm)	厚 さ (mm)	材 料
床 ド レ ン 化 学 廃 液 系	凝縮水ポンプ出口ライン合流部 ～ 凝縮水受タンク入口ライン分岐 部*20 (1, 2号機共用)	1.37	66	114.3	6.0	SUS304TP	—*7				
	凝縮水受タンク入口ライン分岐 部 ～ 弁V52-5505*11, *20 (1, 2号機共用)	1.37	66	114.3	6.0	SUS304TP	変 更 な し				
	凝縮水受タンク入口ライン分岐 部 ～ 凝縮水受タンク*11, *21 (1, 2号機共用)	1.37	66	114.3	6.0	SUS304TP	変 更 な し				
	凝縮水ポンプ出口ライン分岐部 ～ 凝縮水ポンプ出口ライン合流部*22 (1, 2号機共用)	1.37	66	89.1	5.5	STPT42	—*7				
				89.1	5.5	SUS304TP					
弁AV252-120 ～ 機器ドレンタンク入口収集管*2 (1, 2号機共用)	1.37	66	89.1	5.5	STPT42	変 更 な し					

変更前						変更後						
名	称	最高使用	最高使用	外 径*1	厚 さ*1	材 料	名 称	最高使用	最高使用	外 径	厚 さ	材 料
		圧 力 (MPa)	温 度 (°C)	(mm)	(mm)			圧 力 (MPa)	温 度 (°C)	(mm)	(mm)	
床 ド レ ン 化 学 廃 液 系	凝縮水脱塩器 ～ 弁AV252-1023*11, *23 (1, 2号機共用)	1.37	66	89.1	5.5	SUS304TP	変 更 な し					
	弁AV252-1023 ～ 凝縮水脱塩器出口ライン合流部 *23 (1, 2号機共用)	1.37	66	89.1	5.5	SUS304TP	変 更 な し					

注：記載の適正化を行う。既工事計画書には名称欄文末に「～まで」と記載

注記*1：公称値を示す。

*2：既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

*3：記載の適正化を行う。既工事計画書には「ドレン移送系との取合点から「床ドレンタンク・化学廃液タンク入口収集管」の合流点まで」と記載

*4：記載の適正化を行う。既工事計画書には「第1号機液体廃棄物処理系（廃液中和タンクより）との取合点から床ドレンタンク・化学廃液タンク入口収集管の合流点まで」と記載

*5：記載の適正化を行う。既工事計画書には「床ドレンポンプから床ドレン濃縮器まで」と記載

*6：記載の適正化を行う。既工事計画書には「「床ドレンポンプから床ドレン濃縮器まで」の分岐点から機器ドレン系（第1号機補助サージタンクへ）との取合点まで」と記載

*7：当該配管については、1, 2号機共用の取止めに伴い機能廃止とする。

*8：記載の適正化を行う。既工事計画書には「「床ドレンポンプから床ドレン濃縮器まで」の分岐点から機器ドレン系（第1号機補助サージタンクへ）との取合点まで」の分岐点から機器ドレン系（トーラス水受タンクへ）との取合点まで」と記載

- *9 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「床ドレンポンプから床ドレン濃縮器まで」の分岐点から「濃縮廃液タンク入口収集管」の合流点まで」と記載
- *10 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「床ドレン濃縮器復水器から凝縮水受タンクまで」と記載
- *11 : 本設備は記載の適正化のみを行うものであり、手続き対象外である。
- *12 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「化学廃液ポンプから化学廃液濃縮器（蒸発器）まで」と記載
- *13 : 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、昭和 59 年 9 月 17 日付け 59 資庁第 8283 号にて認可された工事計画の添付書類「IV-3-3-2-22-1 管の基本板厚計算書」による。
- *14 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「化学廃液ポンプから化学廃液濃縮器（蒸発器）まで」の分岐点から化学廃液濃縮器循環ポンプまで」と記載
- *15 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「化学廃液ポンプから化学廃液濃縮器（蒸発器）まで」の分岐点から「濃縮廃液タンク入口収集管」の合流点まで」と記載
- *16 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「化学廃液濃縮器復水器から「床ドレン濃縮器復水器から凝縮水受タンクまで」の合流点まで」と記載
- *17 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「凝縮水ポンプから凝縮水ろ過脱塩器まで」と記載
- *18 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「凝縮水ろ過脱塩器から「機器ドレンろ過脱塩器から使用済樹脂・フィルタスラッジ系機器ドレンろ過脱塩装置逆洗水受タンクまで」の合流点まで」と記載
- *19 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「凝縮水脱塩器から処理水タンクまで」と記載
- *20 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「凝縮水脱塩器から処理水タンクまで」の分岐点から第 1 号機液体廃棄物処理系（処理水タンクへ）との取合点まで」と記載
- *21 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「凝縮水脱塩器から処理水タンクまで」の分岐点から第 1 号機液体廃棄物処理系（処理水タンクへ）との取合点まで」の分岐点から凝縮水受タンクまで」と記載
- *22 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「凝縮水ポンプから凝縮水ろ過脱塩器まで」の分岐点から「凝縮水脱塩器から処理水タンクまで」の分岐点から第 1 号機液体廃棄物処理系（処理水タンクへ）との取合点まで」の合流点まで」と記載
- *23 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「凝縮水脱塩器から「機器ドレン脱塩器から使用済樹脂・フィルタスラッジ系との取合点まで」の合流点まで」と記載